

ハロン湾の沈水カルスト地形

<地質調査所 須藤 定久>

ハロン湾はハノイ平原の北東側にある東西20km、南北20kmほどの内海である。海の中に石灰岩の奇岩・奇島が林立し、特異な景観を形成しており、1994年にユネスコの世界遺産にも登録された。この特異な景観は、石灰岩の岩峰が屹立するカルスト地形が海に没したもので、「海の桂林」とも呼ばれている。この島々の中に地元漁民の生活があり、かつてここを訪れた日本人たちの足跡も見られると言う。この景勝地「ハロン湾」の風景を紹介してみよう。



1. 林立する奇岩・奇島、右へ傾斜した石灰岩の層理がくっきり見てとれる。写真右下に漁民の海上家屋が見られる。



2. 層理が明瞭な部分の拡大写真。垂直方向には雨水による溶食のために生じた溝が発達している。



3. ハロン湾の入り口、観光船の左上方に世界遺産であることを示すプレートが埋め込まれている。



4. 波静かな入江の奥に見える漁民の海上家屋。小さな子供も器用に小舟を操る。

5. 絶景を背に漁をする漁民。観光船が近づいてくると魚の行商船になる。

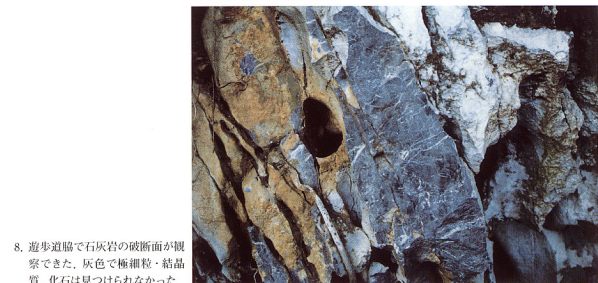




6. 入江に集まった観光船。うしろの山の中に鍾乳洞があり、観光客はここで船を下りて、30分ほどの地底探検を楽しむ。



7. 鍾乳洞には遊歩道や色彩豊かな照明が整備されている。



8. 遊歩道脇で石灰岩の破断面が観察できた。灰色で極細粒・結晶質。化石は見つけられなかった。



9. 外国人を乗せて得意そうに快走する遊覧船、国際的観光地の面目躍如たるどころか？

10. 観光港の脇をこぎ進む老女の
小舟、水澄ましのような形が
いかにもベトナムらしい、向こ
うには朽ち果てそうな小舟が
停泊する。ベトナムの貧しさが
華やかな観光船と背中合わせ
にある。



11. 天気が良くとも海の上、湿気
が多く見通しはあまり良くない、
ハロン市から西を見ると、
黒い島影が夕焼けの中に一瞬
浮かび上がった。